



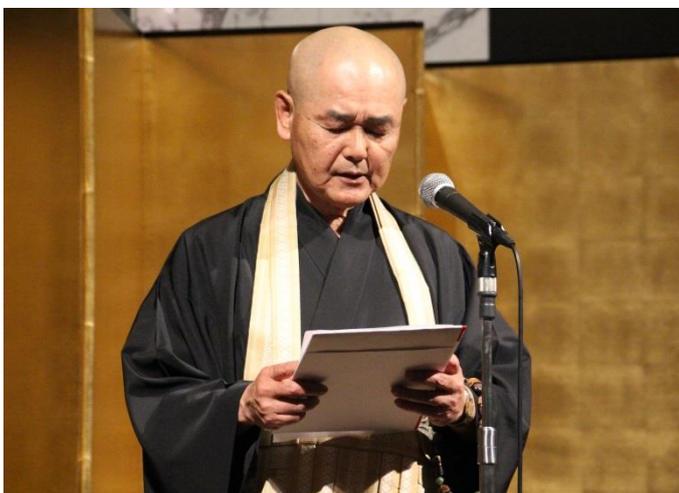
## 救援基金 支援レポート Vol.2

発行日  
平成30年3月16日

平成30年1月31日 本会新年懇親会にて福岡県仏教連合会へ義援金を手交

左：石上智康（本会理事長） 右：重松敬久氏（福岡県仏教連合会事務局長）  
於：ザ・プリンスパークタワー東京 地下2階「ボールルーム」

# 平成29年7月九州北部豪雨に対して、 福岡県仏教連合会（第2次）へ義援金を手交



謝辞を述べる重松氏

## ～ 被災から復興へ ～

平成29年7月九州北部豪雨の発生により、思いもかけぬ被害に遭われ犠牲になられた方々、ご遺族の方々には衷心よりお悔やみ申しあげます。また、河川の氾濫や土砂崩れなどで住宅被害や文化財の被害に遭われた方々、お怪我やご入院をされた方々に謹んでお見舞い申しあげます。

本会では、この甚大な災害に対しまして、加盟団体や賛助会員の皆さまに救援基金の開設をお知らせし、平成30年3月16日現在38件の皆さまから温かな義援金をお預かりしました。

## ～お互い様の精神で支え合う～

福岡県仏教連合会では平兮宗賢会長のもと活発な活動がされています。平成29年9月14日、甚大な被害があった地域の福岡県仏教連合に、義援金（第1次）1,000,000円をお届けしました。平成30年1月30日に開催された新年懇親会の席上において、平兮会長の代理としてご出席された重松敬久事務局長へ、石上智康理事長から義援金（第2次）816,010円を手交いたしました。手交に対し、重松事務局長からは、感謝の気持ちが述べられました。

被災されたご寺院様や檀信徒・門徒様をはじめ皆さまのお心が穏やかに、一日も早い災害復旧と復興を切に願うところです。温かな義援金をお寄せいただき、心より御礼申しあげます。引き続き、救援基金へのお申込みをどうぞ宜しくお願いいたします。

## 皆様からの思いをお預かりしました

皆様から沢山の義援金をお預かりしました。浄財をお寄せいただき、改めて厚く御礼を申し上げます。

平成30年3月16日時点 (入金日順・敬称略)

## 平成29年7月九州北部豪雨「救援基金」寄附者一覧

太福寺 佐久間大道 (兵庫県)

玉林寺 長谷琢堂 (東京都)

一般財団法人埼玉県佛教会

吉祥院 曾我龍慶 (兵庫県)

融通念佛宗

顕本法華宗

赤松広隆事務所 (東京都)

小川昌美 (東京都)

全日本宗教用具協同組合

寂光院 松平實胤 (愛知県)

有限会社新宿アカウンティングオフィス

一般社団法人日本石材産業協会

茨城県仏教会

松山公顯 (愛知県)

大阪府佛教会

F T エナジー株式会社

大本山 大覚寺

真言宗御室派

高木義明事務所

萬福寺 垣内善勝 (東京都)

本門佛立宗 宗務本庁

時宗 宗務所

西山浄土宗

法要寺青年仏教会 (埼玉県)

高野山真言宗 社会人権局

神奈川県仏教会

青森県仏教会

曹洞宗 増福寺 (静岡県)

真言宗智山派

玄向寺 荻須眞教 (長野県)

一隅を照らす運動総本部

地球救援事務局

宮崎市仏教会 (宮崎県)

山梨県仏教会

曹洞宗東京都寺族会

匿名希望 2 名

本会へご寄託いただきましたこと、  
厚く御礼を申し上げます

平成 29 年度  
平成 29 年 7 月九州北部豪雨  
指定寄附額

2,316,010 円

## 平成29年度「救援基金」寄附者一覧 (熊本地震・指定なし)

### 【熊本地震】

ティケイヘンデルアート 黒塚利治

玄向寺 荻須眞教 (長野県)

松山公顯 (愛知県)

小川昌美 (東京都)

宮崎市仏教会 (宮崎県)

### 【指定なし】

太福寺 佐久間大道 (兵庫県)

廣徳寺 (神奈川県)

有限会社新宿アカウンティングオフィス

赤松広隆事務所 (東京都)

青森県仏教会

寂光院 松平實胤 (愛知県)

株式会社カナメ

高野山真言宗 社会人権局

西蓮寺 添下組若院会 (奈良県)

養安寺 大辻隆善 (山梨県)

公益財団法人仏教伝道協会

龍仙寺 武田昭英 (広島県)

北条仏教会 (愛媛県)

一般社団法人仏教検定協会

森由美子 (東京都)

東京ブディストクラブ

匿名希望 11 名

本会へご寄託いただきましたこと、  
厚く御礼を申し上げます

平成 29 年度  
熊本地震指定・指定なし  
寄附額

1,037,278 円

## 平成29年度 義援金・災害救援活動助成金 支援金額一覧

本会では、東日本大震災や熊本地震、国内外の救援・支援、被災された方々や被災寺院、ボランティア団体等へ寄託して、継続的に支援しております。平成29年度の義援金・災害救援活動助成金の支援は下記表①の通りです。また、平成29年度支援実施後で現在本会がお預かりしている救援基金の総残高は下記表②の通りとなっております。

【表① 義援金・災害救援活動助成金 支援金額一覧】 (平成30年3月16日現在)

被災名	支援先/支援内容	支援金額
平成29年7月 九州北部豪雨	福岡県仏教連合会	1,000,000円
	福岡県仏教連合会(2回目)	816,010円
	大分県	500,000円
スマトラ沖地震	NPO法人PLAJA	500,000円
第14次 災害救援活動助成金	東日本大震災ボランティア活動(20件)	1,772,608円
	東日本大震災 保養活動(25件)	2,439,239円
	熊本地震ボランティア活動(1件)	100,000円
	ネパール地震ボランティア活動(1件)	50,000円
第15次 災害救援活動助成金	東日本大震災ボランティア活動(11件)	471,915円
	東日本大震災 保養活動(5件)	250,000円
	熊本地震ボランティア活動(5件)	200,000円
	九州北部豪雨ボランティア活動(2件)	79,371円
	ネパール地震ボランティア活動(1件)	50,000円
合 計		8,229,143円

【表② 平成29年度寄附額 及び 本会預かり救援基金残高】 (平成30年3月16日現在)

被災名 (※は指定寄附)	平成29年度 寄附額	上記支援実施後の 救援基金残高
指定なし	28件 899,171円	11,992,173円
※熊本地震	6件 138,107円	30,811,733円
※平成29年7月九州北部豪雨	38件 2,316,010円	0円
※スマトラ沖地震	0件 0円	1,436,564円
合 計	72件 3,353,288円	44,240,470円



第14次災害救援活動助成金に申請されたボランティア団体の活動写真  
左

東日本大震災ボランティア活動  
震災支援を続ける会より  
「稲葉町イベント広場」開催の様子

右

熊本地震ボランティア活動  
松本浄土宗青年会より  
南阿蘇鉄道の復旧作業の様子

## 新たに「海外人道支援等」寄附金の受付をはじめます。

### ～切れ目のない支援の実施・あなたの支えが今こそ必要です～

平成29年7月九州北部豪雨をはじめとする、災害救援活動や人道的支援に対して、緊急且つ迅速な対応をすべく、本会「救援基金」を常時開設しております。

平成29年夏にミャンマーで起きた暴力行為により、隣国バングラデシュへ逃れた少数民族ロヒンギャの難民が68万人以上にのぼっています。現地では、生活飲料水の不足や妊産婦に対するケアが質量ともに不十分であります。さらには、急激な人口増加によるトイレ不足など様々な問題を抱えております。まもなく雨季を迎えるため、一層の環境衛生の悪化が懸念されます。

また、平成30年2月に発生した台湾南部の地震は台南近郊でマグニチュード(M)6.4を観測し、多くの死傷者とビルの倒壊等の大きな被害が出ています。

本会では、こうした海外での災害や人道支援の問題に、より迅速に対応するため新たに「海外人道支援等」として寄附金の受付を始めます。皆様からの温かい寄附金は、現地の状況を鑑みて支援を行ってまいります。皆様からの温かい浄財を、お寄せいただきますようお願い申し上げます。

また引き続き、ご指定のない寄附金の他にも、「東日本大震災」、「熊本地震」などへの指定寄附金も、お申しいただけます。救援基金は下記の要項にて、お取り扱いいたします。



←地中に埋め込む簡易トイレ

### 救 援 基 金 口 座

【郵便振替口座】 口座番号：00110-9-704834

口座名義：全日本仏教会救援基金

※銀行振込をご希望の場合、本会財務部(03-3437-9275)までお問い合わせください。

また、郵便振替用紙を本会よりご送付する事も可能です。

※寄附金の送金時には、下記の指定寄附先をご明記願います。

**「東日本大震災・熊本地震・海外人道支援等・指定なし」**

※「救援基金」へのご寄附は東京都の条例指定対象寄附です。

ご寄附された個人・法人は、所轄の税務署へ本会発行の領収書を添付して申告することにより、所得税の控除及び損金算入(限度額以内)が適用されます。

## ロヒンギャ難民に対する理事長談話

現在、ミャンマーの主にラカイン州北部に住む少数民族民族ロヒンギャの人々が、隣国バングラデシュに避難し、難民化している事態が起きております。

私たち全日本仏教会は、仏陀の和の精神を基調として世界平和の進展に寄与することを活動目的としております。報道等で伝えられる不幸な事態に対し、深い悲しみをもって、被害を受けている人々に思いを馳せております。



釈尊は、「実にこの世においては、怨みに報いるに怨みを以てしたならば、ついに怨みの息むことがない。怨みをすててこそ息む。これは永遠の真理である」(『ブッダの真理のことば』)と語り、憎悪は憎悪によって止むことはなく、暴力に対して反対の姿勢を示されました。

私たち全日本仏教会はこの不幸な事態に対し、苦しみの中にある難民の人々が一刻も早く平穏な暮らしに戻り、平和的解決が実現することを願いここに人道的支援を行っていくことを表明いたします。

2018(平成30)年3月16日 公益財団法人 全日本仏教会 理事長 石上智康

編集：(公財)全日本仏教会 財務部 お問い合わせ：TEL03-3437-9275